

## 発掘成果をふりかえって 1996

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館

私たちの住む京都には、原始・古代からの遺跡がたくさん残っています。

昨年も、昔の人々の生活した跡（遺構）や、使っていた道具（遺物）などを調べる発掘調査が、数多く行なわれました。調査では、さまざまな遺構や遺物を発見し、多くの成果を上げることができました。

これらの調査の中で特に注目されるのは、平安宮内の役所跡で大規模な井戸が見つかったことです。また、平安京内でも宅地を確認しました。そのほかにも西賀茂の瓦窯跡やJR花園駅周辺での西京極大路や法金剛院に関する発見などがありました。それでは、調査の様子をふりかえってみましょう。



1 平安宮内酒殿跡 上京区智恵光院通下水下の分銅町

平安宮内で初めて井戸（木枠の一边2.1m、深さ6.9m）を発見した。井戸からは緑釉陶器火舎をはじめ墨書土器、越州窯青磁椀などの遺物が出土した。写真右上は深さ4mの井戸の掘形で見つかった木簡で、「内酒殿…」と書いてあった。



2 法金剛院境内跡 右京区花園寺ノ内町

西京極大路と中御門大路の交差点で平安時代後期の建物の地固め（地業）跡を発見した。法金剛院の東門跡ではないかと考えられる。（北東から）



3 法金剛院跡出土瓦経 右京区花園扇野町

粘土板に『無量義経』を刻み焼成した平安時代後期の瓦経が出土した。



4 平安京右京一条三坊二町 中京区西ノ京御奥岡町

町内を分ける南北方向の小径を橋脚と共に発見した。右側の2条の溝と路面が小径である。宅地内では建物跡やまじない跡も見つかった。(北から)



5 八条院町跡 下京区東塩小路町

鎌倉時代の土壙から、おびただしい数の漆器と箸が出てきた。



6 平安宮朝堂院跡 上京区主税町・聚楽町

竹屋町通の立会調査で発見した朝堂院暉章堂基壇の凝灰岩。



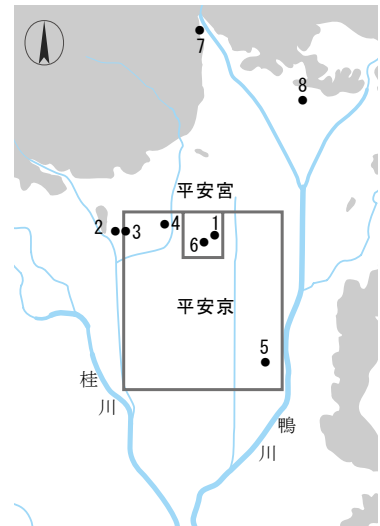
7 上ノ庄田瓦窯跡 北区西賀茂上庄田町

平安京で使う瓦を焼いていた西賀茂瓦窯跡群の一つ。4基の窯跡と、その西側で排水溝と工房跡とみられる建物跡2棟が見つかった。(北から)



8 植物園北遺跡 左京区下鴨前萩町

古墳時代前期の堅穴住居跡。写真右は住居跡で見つかった甕と器台。煮炊きに使われる甕は河内地方で作られたもので、逆さにして2個並んで出土した。(北から)



調査地点